【2022・R4年　12/4　五つの会】　**広町森の会**＜R4年10月・11月活動報告＞　＜12月-R5年1月予定＞

10/2・日　**＊A班**：ウルシ林整美・修景　＊1名

＊緑地重要保全林地のウルシ林全体を、1mほどに覆うカナムグラ・カラムシなどの下草刈り　＊中央部に一本の倒伏しながらも、葉を旺盛につけているウルシ木を覆うカラスウリが著しく景観を損ねているため除去、そして付着根で這い登るキズタの除去

＊B班：竹ケ谷植栽櫻坪刈りとトンボ池下刈り　＊5名

＊竹ケ谷櫻坪刈りを女性会員が刈払機で実施　＊池周辺の植栽櫻は頂部までもカナムグラなどが覆い、樹が見えない状況大鎌・手鎌で除去。＊山腹より池まで倒伏していたエノキを、梯子を使用し、枝を除去。＊斜めの植栽櫻にはY字形支柱でを

10/16・日　**＊A班：第二回ウルシ林下刈りと調査**　1名

＊二回の下刈りにより、身の丈ほどの草はすべて刈り払われ、明るくウルシ林全体が見渡せる景に。＊全ウルシ木を「実生更新」「根茎更新」「萌芽・成木更新」の三種に分け、そして検測桿により樹高も調査し、ほぼ全ウルシ木に番号札を付け、初の**樹木調査記録**

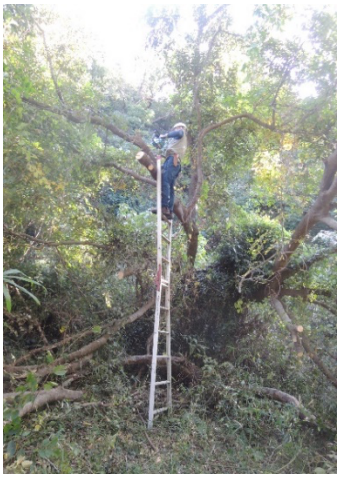
＊B班：**緑の探偵団と協働でどんぐり遊び**　＊参加者34名

＊管理棟学習室・どんぐりは3時間も水に漬け事前準備＊輪切りにしたコースターにどんぐりや枝をつけ、色付け　＊小さい子にはお母さんや毎年参加ベテラン指導でいろいろな発想で独創的な作品に仕上げる

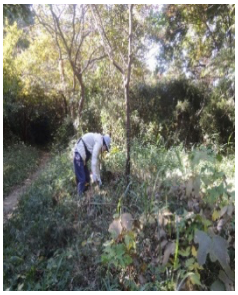
＊最後に広場で喜びの全員集合写真撮影

11/6・日　**＊オニシバリ台地・倒伏エノキの除去**　＊参加者7人

＊台地山側に倒伏しているが根が生き、枝葉をつける大径木のエノキ



＊懸案＝除去するか否か、雑木林の景観上除去決定　＊連結梯子を使用し、7本ほどの幹枝を電動ﾁｪﾝｿｰ伐り落し、1mほどの玉で山際に撤去



＊緑地で梯子等使用時は上段ステップを、必ず固定する

＊植栽櫻の坪刈りも実施。ツルを輪にし、収穫祭ワークショップに

11/19・日　**＊収穫祭ワークショップ参加**　＊参加会員6名

＊A班：鋸挽き体験によるコースター作り　＊賛助会員の力添えで体験会開始　＊初めて鋸挽き体験をする子どもたち、中には三歳児もお母さんのガンバレの声で一生懸命で、伐り終え喜び満面

＊B班：オリジナル額縁・リース飾り・写真立て

＊机2・ブルーシート用意　＊マユミ・マツボックリなどを飾り付けたリースが人気、そして小枝を工夫しながら額縁・写真立てを。

2022年12月・2023年1月予定

１２月４・(日)：リース用ツル採り

11・(日)：リース作り

2023年　1月8・(日)：樵初め

1月22・(日)：浄化センター上竹林跡草刈